

四 半 期 報 告 書

第 1 4 4 期 第 2 四 半 期

自 平成 2 1 年 7 月 1 日
至 平成 2 1 年 9 月 3 0 日

スズキ株式会社

(E02167)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【事業等のリスク】	4
3 【経営上の重要な契約等】	4
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	5
第3 【設備の状況】	8
第4 【提出会社の状況】	9
1 【株式等の状況】	9
2 【株価の推移】	13
3 【役員の状況】	13
第5 【経理の状況】	14
1 【四半期連結財務諸表】	15
2 【その他】	29
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	30

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第144期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

【会社名】 スズキ株式会社

【英訳名】 SUZUKI MOTOR CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役 鈴木 修

【本店の所在の場所】 静岡県浜松市南区高塚町300番地

【電話番号】 053-440-2030

【事務連絡者氏名】 財務部長 宮崎 有一

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区大京町23番2
当社東京支店

【電話番号】 03-3356-2501

【事務連絡者氏名】 東京支店次長 徳光 卓也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第143期 前第2四半期 連結累計期間	第144期 当第2四半期 連結累計期間	第143期 前第2四半期 連結会計期間	第144期 当第2四半期 連結会計期間	第143期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	1,719,854	1,181,559	809,448	604,416	3,004,888
経常利益 (百万円)	68,821	39,078	23,387	26,508	79,675
四半期(当期)純利益 (百万円)	34,232	12,514	8,199	10,376	27,429
純資産額 (百万円)	—	—	876,642	780,552	742,915
総資産額 (百万円)	—	—	2,279,320	2,093,998	2,157,849
1株当たり純資産額 (円)	—	—	1,685.77	1,543.44	1,471.20
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	75.90	28.79	18.18	23.87	61.68
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	66.50	25.12	15.93	20.82	53.97
自己資本比率 (%)	—	—	33.4	32.0	29.6
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	118,300	156,481	—	—	34,241
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△119,375	△69,549	—	—	△262,908
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△36,818	△16,262	—	—	232,870
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	—	399,771	495,990	427,797
従業員数 (人)	—	—	52,949	51,651	50,613

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれていません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、前第2四半期連結会計期間から、事業の種類別セグメントの区分を変更しています。変更の内容については、「第5 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりです。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、次の会社は平成21年7月に合併したため、被合併会社を連結子会社より除外しました。

被合併会社(連結子会社)名称	合併会社(連結子会社)名称
(株)スズキ二輪(西日本)、(株)エスピーエス	(株)スズキ二輪 (株)スズキ二輪(東日本)より名称変更)

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	51,651	(8,067)
---------	--------	---------

(注) 従業員数は就業人員数(退職者及び当社グループからグループ外部への出向者を除く)であり、臨時従業員数(期間社員、人材会社からの派遣社員、パートタイマー他)は、当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員を()内に外数で記載しています。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	14,713	(150)
---------	--------	-------

(注) 従業員数は就業人員数(退職者及び当社からの出向者を除く)であり、臨時従業員数(期間社員、人材会社からの派遣社員、パートタイマー他)は、当第2四半期会計期間の平均雇用人員を()内に外数で記載しています。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
二輪車	270,447台	60.5
四輪車	530,342台	88.3
特機等	9,193百万円	41.9

- (注) 1 金額は販売価格によります。
2 上記金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 受注状況

当社グループは主に見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
二輪車	61,664百万円	50.1
四輪車	524,708百万円	80.4
特機等	10,566百万円	54.1
金融	7,475百万円	52.5
合計	604,416百万円	74.7

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれていません。
2 金額は外部顧客に対する売上高を示しています。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、各国の景気対策効果や在庫調整の進展などにより世界の景気はアジアを中心に下げ止まりつつあるものの、引き続き深刻な状況にあります。国内においても、輸出や生産及び個人消費には持ち直しの動きがみられたものの依然水準は低調であり、企業収益は減少を続け雇用情勢は悪化傾向が続くなど、厳しい経済環境が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結会計期間は、国内外での販売数量減、及び円高による為替変動の影響等により、連結売上高は6,044億円（前年同期比74.7%）と前年同期を下回りました。営業利益は、売上減少や為替影響による減益があったものの、原価低減や諸経費・減価償却費・研究開発費の減などにより、250億円（前年同期比92.9%）と若干の減益に留まりました。経常利益は営業外損益の増益により、265億円（前年同期比113.3%）、四半期純利益についても104億円（前年同期比126.6%）と増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

① 二輪車

世界経済の悪化に伴い、国内外での販売が減少するとともに、円高による為替変動の影響等もあり、二輪車事業の売上高は617億円（前年同期比50.1%）となりました。利益面でも、売上減少や為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、26億円の営業損失となりました。

② 四輪車

国内では、「アルト誕生30年記念車」をはじめ、環境対応車普及促進税制に適合した「スイフト」、「パレット」など商品力の強化をはかり拡販に努めたことに加え、政府対策の実施などにより、国内売上高は前年同期並みとなりました。一方、海外では、「A s t a r」、「R i t z（日本名スプラッシュ）」など新型車が好調なインド、廃車買換え奨励制度の効果等のあったドイツ、イギリスなど、一部の国では販売数量が増加しましたが、世界経済悪化の影響は大きく、世界各地で販売数量は前年同期を下回りました。さらに、円高による為替変動の影響等もあり、海外売上高は前年同期を下回りました。その結果、四輪車事業の売上高は5,376億円（前年同期比78.8%）となりましたが、営業利益は、売上減少、為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収し、244億円（前年同期比129.6%）と増加しました。

③ 特機等

特機等事業の売上高は、世界的な船外機の需要減少などにより、106億円（前年同期比54.1%）となり、営業利益についても、25億円（前年同期比83.2%）と減少しました。

④ 金融

金融事業の売上高は232億円（前年同期比64.6%）、営業利益は11億円（前年同期比53.1%）となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりです。

① 日本

売上高は、北米、欧州など海外向けの売上減少に加え、国内売上も減少したことにより、3,509億円（前年同期比71.3%）となりました。営業利益は、売上減少や為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、109億円（前年同期比81.6%）となりました。

② 欧州

景気後退による販売減、及び円高による為替変動の影響等により、売上高は1,133億円（前年同期比64.7%）と減少しましたが、営業利益は諸経費の減などにより、17億円（前年同期比488.2%）と増加しました。

③ 北米

金融危機に端を発する景気悪化、信用収縮による販売減少により、売上高は318億円（前年同期比50.8%）となり、利益面についても、47億円の営業損失となりました。

④ アジア

円高による為替変動の影響により、売上高は、1,858億円（前年同期比91.1%）と減少しました。こうした中で、インドのマルチ スズキ社は、「A-s t a r」、「R i t z」など新型車の好調により前年同期比増収増益となりました。その結果、アジアの営業利益については、142億円（前年同期比116.1%）と増加しました。

⑤ その他の地域

売上高は、大洋州や中南米での減少により、160億円（前年同期比62.8%）となり、営業利益についても、売上減少や為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、1億円（前年同期比25.4%）と減少しました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は2兆940億円（前連結会計年度末比638億円減）、また、負債の部は1兆3,134億円（前連結会計年度末比1,015億円減）、純資産の部は7,806億円（前連結会計年度末比377億円増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1,027億円（前年同期は291億円の資金増加）の増加となり、投資活動では有形固定資産の取得など452億円（前年同期は490億円の資金減少）の資金を使用しました結果、フリー・キャッシュ・フローは575億円のプラス（前年同期は199億円の資金減少）となりました。財務活動では短期借入金の返済などにより、482億円（前年同期は76億円の資金減少）の資金が減少しました。

その結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は4,960億円となり、第1四半期連結会計期間末に比べ28億円増加しました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間における、事業上及び財務上の対処すべき課題の重要な変更及び新たな発生はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発費は、248億円です。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

① 当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。

② 当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、拡充等について完成したものは、次のとおりです。

区分	金額(百万円)	完成年月	設備等の内容
提出会社			
高塚工場・湖西工場・相良工場他	8,336	平成21年 7月～9月	二輪車・四輪車・船外機・部品等の生産設備
実験試験研究設備	2,317	〃	研究開発設備
流通・販売拠点設備	367	〃	販売設備等
その他	142	〃	統括業務施設・情報化設備等
小計	11,162	—	—
国内子会社及び主要持分法適用会社	3,658	平成21年 7月～9月	生産・販売設備等
在外子会社及び主要持分法適用会社	21,855	〃	生産・販売設備等
合計	36,675 (3,323)	—	—

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれていません。

2 主要持分法適用会社の金額を（ ）内に内数で記載しています。

なお、事業の種類別セグメントごとの内訳は次のとおりです。

事業の種類別セグメントの名称	金額(百万円)
二輪車	4,305
四輪車	31,882
特機等・金融	488
合計	36,675 (3,323)

(注) 主要持分法適用会社の金額を（ ）内に内数で記載しています。

③ 当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,500,000,000
計	1,500,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	542,647,091	542,647,091	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。 単元株式数は100株です。
計	542,647,091	542,647,091	—	—

(注) 「提出日現在発行数」には、平成21年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使（旧商法に基づき発行された転換社債の転換を含む。）により発行された株式数は含まれていません。

(2) 【新株予約権等の状況】

① 会社法に基づき発行した新株予約権付社債は、次のとおりです。

130%コールオプション条項付第4回無担保転換社債型新株予約権付社債（平成18年6月27日発行）

	第2四半期会計期間末現在 (平成21年9月30日)
新株予約権の数（個）	29,995
新株予約権のうち自己新株予約権の数（個）	—
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数（株）	49,107,727
新株予約権の行使時の払込金額（円）	3,054
新株予約権の行使期間	自 平成18年8月1日 至 平成25年3月28日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額（円）	発行価格 3,054 資本組入額 1,527
新株予約権の行使の条件	当社が本社債につき期限の利益を喪失した場合には、本社債に係る本新株予約権を行使することはできないものとし、当社が本社債を買入れ当該本社債に係る社債部分を消却した場合における当該本社債に係る本新株予約権についても同様とする。また、各本新株予約権の一部について本新株予約権を行使することはできないものとする。
新株予約権の譲渡に関する事項	本社債の社債部分と本新株予約権のうち一方のみを譲渡することはできない。
新株予約権付社債の残高（百万円）	149,975
代用払込みに関する事項	各本新株予約権の行使に際しては、当該各本新株予約権に係る各本社債を出資するものとする。
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	—

② 旧商法に基づき発行した転換社債は、次のとおりです。

第3回無担保転換社債（平成14年3月22日発行）

	第2四半期会計期間末現在 (平成21年9月30日)
転換社債の残高（百万円）	29,603
転換価格（円）	2,000
資本組入額（円）	1,000

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	542,647	—	120,210	—	126,577

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	23,417	4.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	22,629	4.17
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	20,961	3.86
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	17,787	3.28
株式会社静岡銀行	静岡県静岡市葵区呉服町1-10	14,500	2.67
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	13,000	2.40
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	米国 マサチューセッツ州 ボストン (東京都中央区日本橋3-11-1)	11,680	2.15
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1-26-1	9,500	1.75
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055 (常任代理人 株式会社みずほコーポ レート銀行 決済営業部)	米国 ニューヨーク州 ニューヨーク (東京都中央区月島4-16-13)	7,900	1.46
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	6,800	1.25
計	—	148,178	27.31

(注) 1 上記のほか、当社が保有している自己株式107,957千株があります。

2 キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー及びその共同保有者は、平成21年4月21日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)によると、平成21年4月15日現在で25,716千株(新株予約権付社債券保有による保有潜在株式数135千株を含む)を所有しています。当該報告書におけるそれぞれの会社の所有株式数は以下のとおりですが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況に含めていません。

キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー	7,880千株
キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー	9,923 "
キャピタル・インターナショナル・リミテッド	4,621 "
キャピタル・インターナショナル・エス・エイ・アール・エル	1,289 "
キャピタル・インターナショナル株式会社	1,222 "
キャピタル・インターナショナル・インク	779 "

3 株式会社三菱東京UFJ銀行及びその共同保有者は、平成19年7月17日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)によると、平成19年7月9日現在で33,180千株(新株予約権付社債券保有による保有潜在株式数296千株を含む)を所有しています。当該報告書におけるそれぞれの会社の所有株式数は以下のとおりですが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況に含めていません。

株式会社三菱東京UFJ銀行	17,787千株
三菱UFJ信託銀行株式会社	10,096 "
エム・ユー投資顧問株式会社	2,413 "
三菱UFJ投信株式会社	2,140 "
三菱UFJ証券株式会社	741 "

- 4 モルガン・スタンレー証券株式会社及びその共同保有者は、平成20年2月7日付で提出された大量保有報告書（変更報告書）によると、平成20年1月31日現在で22,355千株（新株予約権付社債券保有による保有潜在株式数5,438千株を含む）を所有しています。当該報告書におけるそれぞれの会社の所有株式数は以下のとおりですが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況に含めていません。

モルガン・スタンレー証券株式会社	413千株
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシー	12,224 〃
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インコーポレーテッド	2,585 〃
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド	2,273 〃
モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社	1,819 〃
モルガン・スタンレー・セキュリティーズ・リミテッド	1,731 〃
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク	1,307 〃

- 5 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式は、信託業務に係る株式です。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 107,957,600	—	—
	(相互保有株式) 普通株式 147,200	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 434,417,500	4,344,175	—
単元未満株式	普通株式 124,791	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	542,647,091	—	—
総株主の議決権	—	4,344,175	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が1,100株(議決権11個)含まれています。

- 2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式43株及び浜名部品工業株式会社(議決権に対する所有割合35.7%)所有の株式48株が含まれています。

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) スズキ株式会社	静岡県浜松市南区高塚町 300番地	107,957,600	—	107,957,600	19.89
(相互保有株式) 浜名部品工業株式会社	静岡県湖西市鷺津 933番地の1	147,200	—	147,200	0.03
計	—	108,104,800	—	108,104,800	19.92

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	1,947	2,185	2,240	2,455	2,485	2,260
最低(円)	1,644	1,809	1,969	2,060	2,205	2,045

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりです。

(1) 取締役及び監査役の状況

該当事項はありません。

(2) 専務役員・常務役員の状況

当社では、専務役員・常務役員制度を導入しています。前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの専務役員・常務役員の異動は次のとおりです。

①新任常務役員

新役名	新職名	氏名	就任年月日
常務役員	海外営業本部 副本部長 (統括)	原山保人	平成21年7月22日

②退任常務役員

旧役名	旧職名	氏名	退任年月日
常務役員	財務部長	小杉和弘	平成21年10月1日

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しています。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清明監査法人による四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	153,943	136,915
受取手形及び売掛金	※2 223,584	※2 249,289
有価証券	392,883	343,503
商品及び製品	194,901	252,255
仕掛品	18,857	23,620
原材料及び貯蔵品	45,571	48,664
その他	191,413	217,457
貸倒引当金	△3,778	△3,915
流動資産合計	1,217,376	1,267,790
固定資産		
有形固定資産	※1 576,529	※1 588,962
無形固定資産	2,207	2,483
投資その他の資産		
投資有価証券	138,579	121,631
その他	163,507	181,050
貸倒引当金	△1,159	△1,054
投資損失引当金	△3,044	△3,014
投資その他の資産合計	297,883	298,612
固定資産合計	876,621	890,058
資産合計	2,093,998	2,157,849
負債の部		
流動負債		
買掛金	309,893	368,811
短期借入金	343,269	399,010
1年内償還予定の転換社債	29,603	29,605
未払法人税等	10,029	6,285
製品保証引当金	51,400	57,371
その他	201,630	224,037
流動負債合計	945,826	1,085,121
固定負債		
新株予約権付社債	149,975	149,975
長期借入金	146,453	102,757
退職給付引当金	40,765	42,090
その他の引当金	8,236	10,024
その他	22,189	24,966
固定負債合計	367,619	329,813
負債合計	1,313,445	1,414,934

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,210	120,210
資本剰余金	138,142	138,142
利益剰余金	744,374	735,337
自己株式	△241,877	△241,878
株主資本合計	760,849	751,812
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,421	2,309
繰延ヘッジ損益	631	△324
為替換算調整勘定	△101,070	△114,364
評価・換算差額等合計	△90,018	△112,379
少数株主持分	109,721	103,482
純資産合計	780,552	742,915
負債純資産合計	2,093,998	2,157,849

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,719,854	1,181,559
売上原価	1,312,090	912,130
売上総利益	407,764	269,428
販売費及び一般管理費	※1 347,073	※1 237,585
営業利益	60,690	31,842
営業外収益		
受取利息	11,534	8,362
受取配当金	1,666	862
持分法による投資利益	248	—
その他	8,680	6,865
営業外収益合計	22,129	16,090
営業外費用		
支払利息	5,461	4,367
有価証券評価損	6,840	—
持分法による投資損失	—	180
その他	1,695	4,307
営業外費用合計	13,998	8,855
経常利益	68,821	39,078
特別利益		
固定資産売却益	248	241
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	248	241
特別損失		
固定資産売却損	637	229
減損損失	344	0
特別損失合計	981	229
税金等調整前四半期純利益	68,088	39,090
法人税等	※2 24,509	※2 16,154
少数株主利益	9,346	10,420
四半期純利益	34,232	12,514

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	809,448	604,416
売上原価	616,975	466,410
売上総利益	192,473	138,006
販売費及び一般管理費	※1 165,580	※1 113,024
営業利益	26,892	24,981
営業外収益		
受取利息	4,015	3,046
受取配当金	119	82
持分法による投資利益	—	612
その他	4,346	3,325
営業外収益合計	8,481	7,066
営業外費用		
支払利息	2,736	2,227
有価証券評価損	6,193	—
持分法による投資損失	1,985	—
為替差損	—	1,428
その他	1,071	1,883
営業外費用合計	11,986	5,539
経常利益	23,387	26,508
特別利益		
固定資産売却益	56	146
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	56	146
特別損失		
固定資産売却損	577	115
減損損失	344	0
特別損失合計	922	116
税金等調整前四半期純利益	22,521	26,539
法人税等	※2 11,286	※2 11,249
少数株主利益	3,035	4,913
四半期純利益	8,199	10,376

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68,088	39,090
減価償却費	72,378	58,054
減損損失	344	0
受取利息及び受取配当金	△13,200	△9,225
支払利息	5,461	4,367
持分法による投資損益(△は益)	△248	180
売上債権の増減額(△は増加)	36,405	30,958
たな卸資産の増減額(△は増加)	46,635	69,817
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,616	△61,365
未払費用の増減額(△は減少)	△2,011	△18,358
その他	△18,207	42,860
小計	136,030	156,379
利息及び配当金の受取額	13,030	8,679
利息の支払額	△5,147	△3,241
法人税等の支払額	△25,611	△5,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,300	156,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,453	△13,018
定期預金の払戻による収入	13,414	25,006
有価証券の取得による支出	△4,114	△14,069
有価証券の売却による収入	4,092	2,793
有形固定資産の取得による支出	△95,747	△70,995
有形固定資産の売却による収入	4,117	1,768
無形固定資産の取得による支出	△463	△226
投資有価証券の取得による支出	△22,074	△200
その他	854	△608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,375	△69,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△34,734	△70,968
長期借入れによる収入	5,978	62,905
長期借入金の返済による支出	△2,298	△3,639
配当金の支払額	△3,606	△3,469
少数株主への配当金の支払額	△2,088	△1,109
その他	△68	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,818	△16,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,703	△2,476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△56,597	68,193
現金及び現金同等物の期首残高	456,369	427,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 399,771	※1 495,990

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間において、㈱スズキ自販仙台は㈱スズキ自販宮城に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しています。また、当第2四半期連結会計期間において、㈱スズキ二輪(西日本)及び㈱エスピーエスは㈱スズキ二輪(㈱スズキ二輪(東日本)より名称変更)に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しています。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 137社</p>
2 会計処理基準に関する事項の変更	<p>「工事契約に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準を、その他の工事契約については工事完成基準を適用しています。 これによる当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

採用した簡便な会計処理のうち、重要なものはありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を一括し法人税等として表示しています。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)																																						
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,255,128百万円</p> <p>※2 輸出手形割引高 353百万円</p> <p>3 偶発債務 連結会社以外の会社等の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">CAMI Automotive Inc.</td> <td style="text-align: right;">36,084百万円</td> </tr> <tr> <td>PT. Suzuki Finance Indonesia</td> <td style="text-align: right;">4,991 "</td> </tr> <tr> <td>Suzuki International Europe G. m. b. H. の販売店</td> <td style="text-align: right;">1,480 "</td> </tr> <tr> <td>浜松ケーブルテレビ(株)</td> <td style="text-align: right;">1,141 "</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">969 "</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">44,667百万円</td> </tr> </table> <p>4 当社は効率的な資金調達を行うため、取引銀行5行とコミットメント契約を締結しています。 当第2四半期連結会計期間末におけるコミットメント契約に係る借入未実行残高は、次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">コミットメント契約の総額</td> <td style="text-align: right;">155,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">155,000百万円</td> </tr> </table>	CAMI Automotive Inc.	36,084百万円	PT. Suzuki Finance Indonesia	4,991 "	Suzuki International Europe G. m. b. H. の販売店	1,480 "	浜松ケーブルテレビ(株)	1,141 "	その他	969 "	計	44,667百万円	コミットメント契約の総額	155,000百万円	借入実行残高	-	差引額	155,000百万円	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額 1,205,024百万円</p> <p>※2 輸出手形割引高 610百万円</p> <p>3 偶発債務 連結会社以外の会社等の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">CAMI Automotive Inc.</td> <td style="text-align: right;">29,469百万円</td> </tr> <tr> <td>江西昌河鈴木汽車有限責任公司</td> <td style="text-align: right;">6,681 "</td> </tr> <tr> <td>PT. Suzuki Finance Indonesia</td> <td style="text-align: right;">4,376 "</td> </tr> <tr> <td>Suzuki International Europe G. m. b. H. の販売店</td> <td style="text-align: right;">2,357 "</td> </tr> <tr> <td>浜松ケーブルテレビ(株)</td> <td style="text-align: right;">1,277 "</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">140 "</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">44,302百万円</td> </tr> </table> <p>4 当社は効率的な資金調達を行うため、取引銀行5行とコミットメント契約を締結しています。 当連結会計年度末におけるコミットメント契約に係る借入未実行残高は、次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">コミットメント契約の総額</td> <td style="text-align: right;">155,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">155,000百万円</td> </tr> </table>	CAMI Automotive Inc.	29,469百万円	江西昌河鈴木汽車有限責任公司	6,681 "	PT. Suzuki Finance Indonesia	4,376 "	Suzuki International Europe G. m. b. H. の販売店	2,357 "	浜松ケーブルテレビ(株)	1,277 "	その他	140 "	計	44,302百万円	コミットメント契約の総額	155,000百万円	借入実行残高	-	差引額	155,000百万円
CAMI Automotive Inc.	36,084百万円																																						
PT. Suzuki Finance Indonesia	4,991 "																																						
Suzuki International Europe G. m. b. H. の販売店	1,480 "																																						
浜松ケーブルテレビ(株)	1,141 "																																						
その他	969 "																																						
計	44,667百万円																																						
コミットメント契約の総額	155,000百万円																																						
借入実行残高	-																																						
差引額	155,000百万円																																						
CAMI Automotive Inc.	29,469百万円																																						
江西昌河鈴木汽車有限責任公司	6,681 "																																						
PT. Suzuki Finance Indonesia	4,376 "																																						
Suzuki International Europe G. m. b. H. の販売店	2,357 "																																						
浜松ケーブルテレビ(株)	1,277 "																																						
その他	140 "																																						
計	44,302百万円																																						
コミットメント契約の総額	155,000百万円																																						
借入実行残高	-																																						
差引額	155,000百万円																																						

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 発送費 41,934百万円 広告宣伝費 47,558 〃 販売奨励費 32,722 〃 販売促進費 38,377 〃 賃金給料 33,967 〃 減価償却費 9,919 〃 退職給付費用 1,724 〃 製造物賠償責任引当金繰入額 148 〃 リサイクル引当金繰入額 29 〃 製品保証引当金繰入額 11,125 〃 研究開発費 60,089 〃	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 発送費 26,256百万円 広告宣伝費 27,606 〃 販売奨励費 24,923 〃 販売促進費 23,546 〃 賃金給料 31,573 〃 減価償却費 9,163 〃 退職給付費用 1,852 〃 リサイクル引当金繰入額 16 〃 製品保証引当金繰入額 2,493 〃 研究開発費 44,290 〃
※2 当第2四半期連結累計期間における税金費用については、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を一括し法人税等として表示しています。	※2 同左

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 発送費 20,511百万円 広告宣伝費 17,578 〃 販売奨励費 12,836 〃 販売促進費 18,994 〃 賃金給料 16,463 〃 減価償却費 4,874 〃 退職給付費用 1,021 〃 リサイクル引当金繰入額 14 〃 製品保証引当金繰入額 4,229 〃 研究開発費 35,804 〃	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 発送費 12,746百万円 広告宣伝費 11,459 〃 販売奨励費 13,313 〃 販売促進費 10,205 〃 賃金給料 15,512 〃 減価償却費 4,038 〃 退職給付費用 741 〃 リサイクル引当金繰入額 7 〃 製品保証引当金繰入額 54 〃 研究開発費 24,809 〃
※2 当第2四半期連結会計期間における税金費用については、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を一括し法人税等として表示しています。	※2 同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)																								
<p>※1 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p style="text-align: right;">(平成20年9月30日現在)</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">118,810百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定</td> <td style="text-align: right;">305,331 "</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">424,142百万円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△21,742 "</td> </tr> <tr> <td>取得日から満期日までの期間が3ヶ月を超える有価証券</td> <td style="text-align: right;">△2,627 "</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">399,771百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	118,810百万円	有価証券勘定	305,331 "	計	424,142百万円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△21,742 "	取得日から満期日までの期間が3ヶ月を超える有価証券	△2,627 "	現金及び現金同等物	399,771百万円	<p>※1 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p style="text-align: right;">(平成21年9月30日現在)</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">153,943百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定</td> <td style="text-align: right;">392,883 "</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">546,827百万円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△36,732 "</td> </tr> <tr> <td>取得日から満期日までの期間が3ヶ月を超える有価証券</td> <td style="text-align: right;">△14,104 "</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">495,990百万円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	153,943百万円	有価証券勘定	392,883 "	計	546,827百万円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△36,732 "	取得日から満期日までの期間が3ヶ月を超える有価証券	△14,104 "	現金及び現金同等物	495,990百万円
現金及び預金勘定	118,810百万円																								
有価証券勘定	305,331 "																								
計	424,142百万円																								
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△21,742 "																								
取得日から満期日までの期間が3ヶ月を超える有価証券	△2,627 "																								
現金及び現金同等物	399,771百万円																								
現金及び預金勘定	153,943百万円																								
有価証券勘定	392,883 "																								
計	546,827百万円																								
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△36,732 "																								
取得日から満期日までの期間が3ヶ月を超える有価証券	△14,104 "																								
現金及び現金同等物	495,990百万円																								

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 542,647千株

2 自己株式の種類及び株式数

普通株式 108,012千株

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	3,477	8.00	平成21年3月31日	平成21年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月2日 取締役会	普通株式	2,173	5.00	平成21年9月30日	平成21年11月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第 2 四半期連結会計期間 (自 平成20年 7 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)

	二輪車 (百万円)	四輪車 (百万円)	特機等 (百万円)	金融 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	123,146	652,551	19,518	14,232	809,448	—	809,448
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29,368	50	21,725	51,143	(51,143)	—
計	123,146	681,920	19,569	35,957	860,592	(51,143)	809,448
営業利益	170	18,852	3,008	2,109	24,140	2,751	26,892

当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成21年 7 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

	二輪車 (百万円)	四輪車 (百万円)	特機等 (百万円)	金融 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	61,664	524,708	10,566	7,475	604,416	—	604,416
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12,921	26	15,747	28,695	(28,695)	—
計	61,664	537,629	10,593	23,222	633,111	(28,695)	604,416
営業利益 又は営業損失 (△)	△2,647	24,431	2,502	1,120	25,407	(426)	24,981

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)

	二輪車 (百万円)	四輪車 (百万円)	特機等 (百万円)	金融 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	282,942	1,383,726	38,953	14,232	1,719,854	—	1,719,854
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29,368	50	21,725	51,143	(51,143)	—
計	282,942	1,413,094	39,003	35,957	1,770,998	(51,143)	1,719,854
営業利益	6,051	43,624	6,153	2,109	57,938	2,751	60,690

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

	二輪車 (百万円)	四輪車 (百万円)	特機等 (百万円)	金融 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	142,542	1,002,454	21,681	14,880	1,181,559	—	1,181,559
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25,313	65	23,365	48,744	(48,744)	—
計	142,542	1,027,767	21,747	38,246	1,230,303	(48,744)	1,181,559
営業利益 又は営業損失 (△)	△5,529	32,288	2,874	2,057	31,691	151	31,842

(注) 1 事業の区分は、市場及び販売方法の類似性に内部管理上採用している区分を加味した方法によっています。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
二輪車	小型二輪自動車、軽二輪自動車、原動機付自転車、バギー
四輪車	軽自動車、小型自動車、普通自動車
特機等	船外機、雪上車用等エンジン、電動車両、住宅
金融	販売金融等

3 事業区分の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

従来、事業を「二輪車」「四輪車」「その他」の3区分としていましたが、当第2四半期連結会計期間より、当社グループの事業内容をより明瞭に示すため、金融事業を区分し、「二輪車」「四輪車」「金融」「その他」の4区分に変更しています。(なお、第4四半期連結会計期間において、「その他」の事業内容を「特機等」としているため、事業区分は変更後の表記としています。)

この結果、当第2四半期連結累計期間は、従来の方法に比較して、売上高については「四輪車」において15,135百万円、「特機等」において50百万円、「金融」において35,957百万円増加し、「消去又は全社」において51,143百万円減少しています。また、営業利益については「四輪車」において4,861百万円減少し、「金融」において2,109百万円、「消去又は全社」において2,751百万円増加しています。

また、第1四半期連結累計期間は従来の方法によっています。従って、第1四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比較して、売上高については「四輪車」において6,537百万円、「特機等」において25百万円、「金融」において15,057百万円減少し、「消去又は全社」において21,545百万円増加しています。また、営業利益については「金融」において961百万円減少し、「四輪車」において245百万円、「消去又は全社」において678百万円増加しています。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	350,085	173,288	61,470	199,098	25,506	809,448	—	809,448
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	142,392	1,952	1,027	4,925	—	150,297	(150,297)	—
計	492,478	175,241	62,497	204,023	25,506	959,746	(150,297)	809,448
営業利益 又は営業損失 (△)	13,362	356	△3,476	12,268	579	23,090	3,801	26,892

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	270,818	111,395	31,317	174,874	16,010	604,416	—	604,416
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,112	1,947	441	10,953	0	93,455	(93,455)	—
計	350,931	113,343	31,758	185,827	16,010	697,871	(93,455)	604,416
営業利益 又は営業損失 (△)	10,898	1,742	△4,747	14,244	147	22,285	2,696	24,981

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	708,687	392,131	162,268	408,382	48,384	1,719,854	—	1,719,854
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	312,469	2,582	1,768	7,921	—	324,742	(324,742)	—
計	1,021,157	394,714	164,037	416,303	48,384	2,044,596	(324,742)	1,719,854
営業利益 又は営業損失 (△)	31,532	2,235	△6,703	20,670	1,400	49,134	11,556	60,690

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	510,773	218,223	77,964	344,447	30,151	1,181,559	—	1,181,559
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	171,140	4,446	909	18,643	0	195,140	(195,140)	—
計	681,913	222,669	78,873	363,091	30,151	1,376,699	(195,140)	1,181,559
営業利益 又は営業損失 (△)	8,866	3,558	△8,906	25,452	509	29,480	2,362	31,842

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州 ……ハンガリー、英国、ドイツ
 (2) 北米 ……米国、カナダ
 (3) アジア ……インド、インドネシア、パキスタン
 (4) その他の地域 ……オーストラリア、コロンビア

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	211,023	66,354	212,113	79,288	568,779
II 連結売上高（百万円）					809,448
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	26.1	8.2	26.2	9.8	70.3

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	117,307	34,377	186,089	34,716	372,491
II 連結売上高（百万円）					604,416
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	19.4	5.7	30.8	5.7	61.6

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	468,922	170,532	437,289	159,797	1,236,542
II 連結売上高（百万円）					1,719,854
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	27.3	9.9	25.4	9.3	71.9

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	229,895	82,768	363,419	66,096	742,179
II 連結売上高（百万円）					1,181,559
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	19.5	7.0	30.8	5.6	62.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州 ……ハンガリー、英国、ドイツ
 (2) 北米 ……米国、カナダ
 (3) アジア ……インド、インドネシア、中国
 (4) その他の地域 ……オーストラリア、コロンビア
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,543円44銭	1株当たり純資産額	1,471円20銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	780,552	742,915
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) (うち少数株主持分)	109,721 (109,721)	103,482 (103,482)
普通株式に係る四半期連結会計期間末(連結会計年度末) の純資産額(百万円)	670,831	639,432
普通株式の発行済株式数(千株)	542,647	542,647
普通株式の自己株式数(千株)	108,012	108,012
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期連結会計 期間末(連結会計年度末)の普通株式の数(千株)	434,634	434,634

2. 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	75円90銭	1株当たり四半期純利益金額	28円79銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	66円50銭	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	25円12銭

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益金額(百万円)	34,232	12,514
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	34,232	12,514
普通株式の期中平均株式数(千株)	451,051	434,634
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円) (うち社債管理手数料(税額相当額控除後))	10 (10)	10 (10)
普通株式増加数(千株) (うち新株予約権付社債) (うち転換社債)	63,910 (49,107) (14,802)	63,910 (49,107) (14,802)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	18円18銭	1株当たり四半期純利益金額	23円87銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	15円93銭	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	20円82銭

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益金額(百万円)	8,199	10,376
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	8,199	10,376
普通株式の期中平均株式数(千株)	451,050	434,633
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	5	5
(うち社債管理手数料(税額相当額控除後))	(5)	(5)
普通株式増加数(千株)	63,910	63,909
(うち新株予約権付社債)	(49,107)	(49,107)
(うち転換社債)	(14,802)	(14,802)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成21年11月2日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しました。

- ① 中間配当による配当金の総額……………2,173,447,240円
- ② 1株当たりの金額……………5円00銭
- ③ 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成21年11月30日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

スズキ株式会社
取締役会 御中

清明監査法人

代表社員 公認会計士 今村 了 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 岩間 昭 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスズキ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スズキ株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

スズキ株式会社
取締役会 御中

清明監査法人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 今 村 了 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 岩 間 昭 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスズキ株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スズキ株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。